



論 壇

新社会人と成る人達

螢の光窓の雪 数々の思出と印象を残して小學校を卒業し新社会人として立ち出でる時が来た。

白紙の如き純情さで小學校に上り各人六ヶ年、亦八ヶ年の社会へ出する準備教育を受け終へて愈々職業戦線へ乗出すのだ。兒童の親達も又受持の先生も、學生としてのなすべき任務を完了した其の喜びと同時に又兒童の就職に就ては何かと心痛の事と思ふ。

新社会出發の時がその一生の浮沈に迄關する重大な問題であるから、小供としても中には自分の好む道亦得手の仕事に就きたからうけれど、親としても自重して考へ最善の方面と思ふ職業へ進ませる可きであらう。幸か不幸か支那事變の眞唯中にある今日、都會方面に於ける機械工場、軍需工業は益々努力の投入な時であり、農村よりの青少年進出を望んでゐるのである。又曠野開拓にも國家全力を掲げて國民に呼かけてゐる。青少年義勇軍となりて若鳥の報國には又よい道ではないか農村に残らねばならぬ必要の者は家業に一心勵み銃後の

完壁を期すのも重大な任務である。いづれの道に進むにも一番大切な事は自分の身体健全な事であり、奮發心の必要な事である。社会人となつたからには現下重大時局をはつきりと認識して、自分の行動が一舉手一投足皆國家に關し又村に關し自分に關するのであるから、固い強い信念を持つて出發されん事を希望する次第である。

戦線將兵の銃後慰問に對する希望

曠野の戦線にありて悪戦苦闘する事一年有半、今度目出度く〇〇せし勇士に戦線將兵の銃後に望む慰問方に就て問へば

慰問文が取り持つ一線と銃後の感激！それは送り主と貰つた兵隊の誠心と誠心がピッタリ合つた時だ。そんな話は澤山ある、然し余程注意しない折角の心盡しも無駄？何等効果のないことになる。例へば折角美辭麗句を連ねた一装用の慰問文でも、それが印刷や陰寫したものなら九分通りが残念乍ら眼を通す者はない位だ、肉筆殊に毛筆なんかで丁寧に一字一句誠心込めて書いてあると心から有難い！と云ふ氣分が湧いて自然に頭が下る……。

又純真そのもの、如き小學生の慰問文、涙の出る程うれしものだ。殊に女生徒、小供でも大人でも異性からのお便りは格別の味だ。常に荒涼たる戦野を馳驅して身も心も荒み切つてゐる一線の人達にはほんとうに温い云ふに云はれぬ親しみとなつたかさを覺へ

慰問袋を贈る、と云ふことは單に品物を送る、と云ふ形だけのことではない筈だから今少し頭を働かして例へば僅かな品物でもそれを生かす、つまり貰ふ者に喜んで戴ける様物考へたいと思ふ。今迄の様に慰問袋と云へば物質本位、例へば實用向のチリ紙越中等や其外型にはまつた食料品以外に精神的慰問向の物と云つて特別變つた物ではない今迄も顔を出してゐたが例へば各神社の御神符、小學生の慰問文其他作品、美人の寫眞、娯樂品、各種玩具等々でそれら一々贈り主の誠心をブチ込んだ慰問又は激勵の辭を添へたり其外氣の就いた趣時を凝らして今少し此の方面に重点をおいて作つたなら相當喜ばれる意味ある慰問袋が生れ出せんかと思ふ。そして其部隊の動き、現地の状況を顧慮することは絶対必要だと思ふ例へば前線にゐる者には實用向のもの味覺品等、後方警備等に移つたものには精神的慰問向のもの等に重点を置く、と云ふ様に著眼して現れたらそれは慰問袋として萬全だと思ふ。輸送途中の事故でもなく特種記事のあるでもない新聞や村報が一月も二月も経つてから平然と舞ひ込むと一寸ナメられた様な氣がしていさゝかムツとするさうだ。然し銃後の人の眞心は何時でも全じ嬉しい感情で戦地の者に通じるのだからお互ひ確かりやることだ。

嗚呼……三十四年前奉天大決戦

召集實施 青年學校

赤い夕陽の滿洲に國運を賭して戦つた、奉天大會戰第三十四回陸軍記念日を事變下に迎へて、此の日に意義あらしむべく、午前二時卅分、非常召集令狀は班長、組長を経て各生徒へと傳達された。夜の帷を突き破つて若き氣に燃へ立つ、男女生徒全員、午前四時卅分小學校々庭に整列を終る。

もの／＼しき人員點呼、活氣に満ちた若人の叫び、時局青年の意氣高らか……皇居遙拜に始る、記念式、東天しらむ頃、校長先生の切々たる訓話、黎明の空氣を傳つて生徒一同の胸の奥迄しみ渡り、愈々時局に覺醒め益々奮起せんと心に誓ふ。力強き、サイレンの響き、休養の夜から活動の朝を告ぐる頃、明鳥二三羽東の空へと

縣聯主 拓殖講習會へ 原定治君を送るに際して

縣聯合青年團に於ては今般縣下四ヶ所に、拓殖部長講習會を開催する事となつた。その第一會場は、飯田市羽場區公會堂に於て三月十九日二十日の一泊二日間開かれる。参加區域は上伊那、下伊那、飯田市、西筑摩の一部にて各單位青年團より拓殖部長を召集し、指導訓練されるのである。本村青年團に於ても、其の趣旨に賛同し、此所に原定治君を代表として送り受講せしめ以つて、拓殖運動の要諦を把握せしめ、將來村當局と益々緊密なる連絡を取り遂次に有効活潑なる活動を展開し、國策遂行の重要部門たる拓殖事業に僅かなりとも貢獻せんとするものである。

消て行く……嚴肅裡に式を閉ぢ、今事變に戰死された村内勇士皆様の墓參の途につく。大東亞建設の人柱となられた勇士の墓前にぬかづく時、皆様の生前をしのび、幾多限りなき武勳をたへて、云ひ知れぬ感激とむせびて聲もなく立昇る線香の煙り、あるかなきかの朝風にわれて薄れ行く去る一月も末、北支の戦野に經機關銃射手として最前線に立ちて何時も部隊の須要火器の威力を完全に發揮しつゝ、あつて遂に名譽の戦死を遂げられた、小室勇士の佛前にありし頃の面影、頼もしき軍衣の姿よ、もの言はぬばかりに祭られて、御遺族皆様の貴い御言葉、整頓されてる住居此れあつて始めて東亞の建設は遂行されて行くのである。やが

長閑に響く初午の鐘……遠く幼き頃の思ひ出が走馬燈の如くに脳裡に巡り来る。初午と云えば幸ちやんや五郎さや一夫一妻と一處に初午にや館をついてやるからと言はれてよく摘んだ餅草の土手を連想する程春と云ふ氣分が感ぢられる。



春の野に佇む

双及劍

長い／＼冬眠も醒めて梅花は綻び小鳥啼ぶ陽春の候来る。俺等百姓の天下が来たのだ今年こそは／＼のお定り文句はやめて衷心より今年こそはしつかりとやらうぜ懐かしの學窓を巣立つて生活線へ又大陸へ青少年義勇軍として出發す。

回 農會の代表物代改選期、四月一日選べ英斷……穩健の人格者を。回 農村更生の熱意に燃ゆる戦士を、以て銃後の護りの完壁に邁進出来るのだ。回 滿洲開拓移民團諸氏嫁モライにぞく／＼と歸郷？だとと思ふ間にモウ出掛けましたよモラツテ。回 早く嫁がほしけりや滿洲へ行こうかなとは若い衆の聲、こんな寢言、好伴侶を連れて共に曠野開拓の大業へ、これ眞の國策。

回 今年年の村のシンシヨは四萬數千圓也と。へりましたよ昨年よりか何分か村民の負擔が。回 お待ち望の警防團愈々内定したと仄聞、現消防組を中心とかこれもよい、お仕事をがっちりやれば。

米穀増産の趣旨及目標に就て

農會 島岡 技手

現下我國は支那事變の戦時体制下にありて、舉國聖戰目的たる東亞新秩序の確立に邁進しあるも、事變の長期戦に互るに従ひ國民食糧の大宗たる米穀は平時人口増加等に伴ふ消費の自然増加に加へ軍需の増大軍需産業の活況及代用食糧たる麥類、甘藷の軍需原料へ轉換等事變による突發原因に基き消費高は大激増を來し最近の米穀供給事情を検討するに昭和十四年度に於ては當に米穀生産の減退防止に止らず、進んで急速なる増産を必要とする情勢にあり之が萬一此のまゝに放置し置く時は直接國民生活に影響を及ぼし、且皇軍並統帥國民の士氣に關する所至大なるものあり。依つて國に於ては今回農林省に臨時農村對策部を設け重要農産物の総合的生產計畫を樹つることとなり、米穀もその對象として將來各道府縣にその増産數量を劃當つることも豫想せらるゝも本報作年度に於ては今後の長期戦に備ふる緊急國策として、米穀増産獎勵趣旨の徹底化を計り既設各種機關の活用による指導獎勵と農家の自發的協力により特に耕種法改善の余地多き地方及反當收量少き農家をして耕作の安全性確保を主眼として合理的なる増収により最低三百万石の増産を企圖せられたり縣及郡は勿論なれど我竜丘村に於ても國策に順應し病虫害等災害の如何に關せず水陸稻共最近三ヶ年平均收穫高の各六分、二百〇四石余の増産を目標として増産しなければならぬ。即ち反當一斗七升の

増産を期してむらいたい

稲作増収の基固はなんとなし苗育成の改善にある。左記に苗代に對しての注意を記して參考に資す。

一、品種
○適品種の選擇 ○品種の適當なる配合栽培を行ふこと。
二、種子
○塩水選を勵行すること。
○種子消毒を勵行すること。稻熱病、胡麻葉枯病、馬鹿病の被害の虞あるものは必ず浸種直前ホルマリン消毒を行ふ事(ホルマリン五〇倍液に三時間浸漬したる後水選すべし)

三、整地
○日當り良く寒風の當らざる所を選擇すること ○灌排水其他便利なる所を選擇すること ○床巾四尺短冊型揚床苗代を勵行すること
四、肥料
○本縣臨時配合肥料の施用產業組合にて之が配合肥料を製造してあるから坪當一〇一四〇勿施用のこと ○人糞尿は左記の缺點あるを以て可成廢止すること イ成分量不確實、ロ稻苗腐敗病、床面剝削、アオミドロ等發生増加 ○肥料は必ず目方を確實に施用のこと
五、播種
○早蒔の勵行
一毛作、紫雲英一毛作地は四月十日乃至四月廿五日、麥二毛作地は四月廿五日乃至五月五日迄
○薄蒔の勵行

何れも二合五勺以内
○苗代面積の確定
何れも本田一反歩に對して十二一十四坪
○麥二毛作專用苗代設置
六、灌排水の注意
○寒冷なる日を除き日中淺水(五分)にし夜間深水二寸以上にする。○特に浮苗發生多き地は發生後より苗の二寸五分位に伸長する迄は日中排水し夜間深水にすること
○なるべく水温を高めるため温水池を設置すること
○病蟲害其他
○稻苗腐敗病防除
○必ず發芽當時(播種後十日乃至十五日頃)に四斗式ボルドウ液坪當り五合撒布すること
○稻熱病防除

○必ず左記により稻熱病の防除を実施すること
イ、一毛作、紫雲英一毛作……五月下旬一回
ロ、麥二毛作……五月下旬乃至六月上旬二回
展着劑加用四斗式過石灰ボルドー液(坪當り三合撒布のこと)
○浮塵子稻螟蝻驅除
○挿秧數日前に除蟲菊石鹼合劑(坪當三合)又は除蟲菊木灰合劑撒布のこと
○其他
○床面剝削及アオミドロ發生の徴候ある時は六斗式ボルドウ液を坪當り五合撒布すること
○稗其の他の雜草除去を勵行すること

各聯隊區司令部
六、入選者には賞品を贈呈するものとす
七、應募作品は總て返還せざざるものとす

時局認識向上を目指して
第十四師團司令部
と一タスポ
募集要領
一、募集品目
「ポスター」及「標語」の二種とす
二、内容
1「ポスター」標語「其左記項目中の趣旨を表現したるものなること
イ、支那事變聖戰たる意義、堅忍持久、舉國一致、國防強化の必要を強調
ハ、戦死傷者に對する感謝
ニ、銃後陣の強化
三、用紙及色彩
イ、「ポスター」は畫用紙(厚手)とし、大さ約新聞紙二頁大以内、色彩は隨意とす

良き書物から良き村へ
物心總動員の秋！
渡邊幾治郎
吉川英治
一、二、三卷
富田岩代
○土に生きる
○股旅小説傑作集 新小説社
六冊
○戦争と二人の婦人
山本有三
○綴方教室 正續 豊田正子
○征野千里 谷口 勝
○支那讀本 外務省情報部
○南風薩摩歌 海音寺潮五郎
○一人として 相馬愛蔵
○生活の探求正續 島木健作
○協坂部隊 中山正男
○植村全集 植村正久
○第一卷 第八卷
○パスカル冥想錄 由木 康
○子供研究講座 上村清敏
○第一卷 第八卷
○倫理御進講草案 猪狩又藏
○國民百科大辭典 富山房
○一四四及び別卷
○日本國際年鑑
○日本國際問題調査會
○十四年度購入圖書
○榮養讀本 鈴木梅太郎
○報徳讀本 宮西一積
○曉は遠けれど 竹田敏彦
○幽霊藥局 木下宇陀兒
○會地村 熊谷元一
○北岸部隊 林美美子
○勤王浪人笛上下 戸川貞雄
○宵待草 武田麟太郎
○明治天皇と軍事

故小林洋吉氏追善記念として
○大百科辭典寄贈さる……
昨年十二月八日日本村長野原小林誠氏より故小林洋吉氏追善記念として竜丘圖書館へ氏圖書として誠に感謝に堪

農會代表選舉目捷に迫る
農村更生の途上にある時誰を選ばべきか
本年四月一日竜丘村農會總代選舉左記の通り執行す
總代總數廿五人
駄科區於公會堂
自午前七時總代數八人
至全十一時總代數八人
桐林區於集議所
自午前七時總代數七人
至全十一時總代數七人

毛屑取扱結果報告
竜丘女子青年團
毛屑總量 九貫四百廿九
代金 廿八圓七十錢
内譯 廿圓
村統後々授會に寄附 十八圓七十錢
竜丘女子青年會費へ
女子青年會費用として預き戰事に関する事に有効に使ふ考へであります。

時變下第二年目に於ける 竜丘村歳入出豫算確定す

昭和十四年度竜丘村歳入出豫算左記の通り本村會の議決を經たり	合計金四萬九千九百六十六圓
歳入の部	歳出の部
一、歳入の部	一、歳出の部
金四萬一千九百六十六圓	金四萬九千九百六十六圓
歳出の部	歳出の部
一、歳出の部	一、歳出の部
金四萬一千九百六十六圓	金四萬一千九百六十六圓
歳出の部	歳出の部
一、歳出の部	一、歳出の部
金四萬一千九百六十六圓	金四萬一千九百六十六圓

巢立つ若鳥よ何處へ…… 卒業生の動向

昭和十三年度本村小學校卒業式は三月二十四日に舉行されるが卒業生の動向は左の通り	家庭に止る者
尋常科卒業生	男九 女二二 計三十一
男七三 女五七 計一三〇	上級學校入學志望者
高等科へ進む者	中學校一 農學校三
男五九 女四七 計一一一	商業學校二 龍東農學校一
上級學校へ入學志望者	電氣學校一 高女三年一
中學校一三 女學校五	實科高女八
龍東農學校一 計一九	他出就職する者
他出就職する者	店員男一〇 女一 計一一
男〇 女五 計五	工場男三 女四 計七
高等科卒業生	其他男二 女五 計七
男三六 女三五 計七一	満洲青少年義勇軍一
	未定男三 女四
	計七

農會便り

○昭和十四年度竜丘村農會收支豫算總代會の議決を經左記の通り決定す
金參千六百七十三圓

○昭和十四年度竜丘村農會事業計畫左の通り決定す

- 一、技術員設置
- 一、部落指導員設置
- 一、講習講話會開催
- 一、品評會開催
- 一、農家小團體活動獎勵
- 一、畜産獎勵
- 一、副業獎勵
- 一、園藝獎勵
- 一、自給肥料増産獎勵

各所の丘便り

●耕田工先生に物を訊く會
三月十八日午後七時より竜丘電氣利用組合に於て日本國體研究所企劃院の耕田工氏を圍み本村産青聯主催にて時局につき物を訊く座談研究會を開いた。

●第三回供糧配分開始
生糸組合では來る三月廿二日より第三回配分金を開始する。總金額概算四萬八千圓次の割合である。

●三月廿七日、十七日修養會行事例會

●三月廿日龍西館工場内青年學校卒業式を舉行

●陸軍記念日 各種團體の催し

★戦線勇士の美舉

前線勇士より折々銃后への獻金に感激する折柄又も去る二月十日長野原出身の陸軍獸醫大尉齊藤壽氏より左の如く銃後の運動資金の一端に與へられた。

●長野原國防婦人會へ三十圓

●長野青年會へ十圓

●長野女子青年會へ十圓

青林一夫君

我等が代表

來る廿二日飯田中學校に於て開かる、郡聯合青年會支部對抗剣道試合へ、吾が龍峽支部代表選手の一員に加つて林一夫君が出席する事になった。其の奮闘の如何こそ吾等青年會員の期待する所である。

K J J 記

初午祭

三月二十二日 長石寺觀音 養蠶守護に 皇軍將兵武運長久 祈願に

時又長石寺の觀音様と初午祭は余りにも有名であり、今年三月十五日が恰度其の當日に當ります。亦出征皇軍將兵軍馬の武運長久祈願祭を行ふから當日は例年以上の參詣人がある事と豫想する。尙地元の時又商會は當日の出入を想い早くより大賣出しの準備に多忙である。同青年會も例年通り物品陳列即賣會を開催し村内副業品亦一般からの希望して居る。また女子青年會もおもしろく、うどん屋を開く可く大賣であり、また白エプロンの娘達の朗らかなサービスで相當な人氣を得る事であらう。

「ドウカ參詣の折はおしるこやへ」と云ひたいくらいのはりきり方。

初午祭の御歸りミヤゲわ
いつも安くて味まい
當店の菓子
……當日は特貨……
……品山つみ……
藤や菓子舗

初午祭の御歸りミヤゲわ
ぜび當店の
新くさもち
を
奴餅

初午祭の御歸りミヤゲわ
いつも安くて味まい
當店の菓子
……當日は特貨……
……品山つみ……
藤や菓子舗

初午祭御買物は
ぜび勉強の當店へ……
小間物類 其の他
化粧品類 其の他
代田や商店

新學期學用品賣出し
御入學御進級の
御祝に學用品を
御入學御進級の
御祝に學用品を

久米屋書店
各種
新刊雜誌
月後雜誌
▼小學生學習參考書到着

久米や都芋部
『みやこいも』
『武運長久祈願えんぎ』を

初午祭の御歸りミヤゲわ
いつも安くて味まい
當店の菓子
……當日は特貨……
……品山つみ……
藤や菓子舗



土の戦士

小林武一氏より

第一信

拜啓其後は御無沙汰致しまして...

満洲開拓の目的

一、日本國家社會の安定
二、日本民族の大陸發展
三、満洲國國民の盤石
四、満洲國國民の福祉増進
五、東洋平和確立に歸結する事が出来る。

實現され満洲國の國力は充實し東洋永遠の平和が確立するのである。

開拓地の獲得

満洲國內の土地は既に民有地になつてゐるものが多い。北滿僻地の地と雖も國有地は山岳地帯や濕地帯に残存するに過ぎない。

民有地を一括して買収せねばならぬ。買収は従來滿洲公社と満洲國の出先官憲とが協力して行つてゐる。前述した通り開拓事業は満洲國の國家及人民の爲にも必要であり有利でもあるから既墾地の多い人の密集せる處や特殊の事情ある處を除いて、大量的に買収するがよい。

作らない主要條件である。地價は其の土地の利用價値や其他の状況によつて大差があるが、熟地一町歩三〇圓乃至八〇圓未墾地一町歩五圓乃至二〇圓である。

獲得する必要がある。此の如き土地は極めて安價にして普通通浮遊地として可耕地に附隨してゐる場合が多い。

先住民の處置

先住民の大部分は漢人である處に依つては鮮人或は蒙古人が住んでゐる。

先住民は地方に依つて其の數を異にするも利用價値の高い處では先住民皆無の地と云ふ

處は殆んどない。北滿の北部地帯の極めて僻遠な處でも利用價値の高い處では先住民がゐる畢竟特殊な土地以外は先住民が居るものと豫想せねばならぬ。

然らば如何に處置すべきか、一、開拓事業の邪魔にならぬ限り先住民の立退を緩にし當分開拓地内に在留を許す

二、當分開拓地内に居住を許す以上彼等を開拓地行政の統制下に置き生活の途を與へ且つ安住し得る様保護してやる

三、先住民を他處に移す場合は交換地の世話をしてやる
◎開拓士の選擇及訓練
開拓士に對しては選擇及訓練の必要がある。今後何年かの後滿洲開拓團の定石を完全に打たれた時に於ては尙ほ相當の選擇と訓練とをせねばならぬが特に、當分の間は選擇を嚴重にして十分な訓練をする事は絶対に必要である。

開拓士選擇の要件は
一、身體強健なる事
二、意志強固なる事
三、農業の體驗を有する事
四、人物優良なる事
五、係類少ない事

開拓士は農業者であらねばならぬが開拓團の構成には村行政員、小學校、青年學校訓練所等の教員、病院、組合等の從業員其他大工、左官、鐵工、煉瓦工、菓子職人、器械工、醸造技術者等の特殊技能を有する者が必要である。

◎開拓士の心得と心理

開拓士は北滿開拓の先驅者として大きな誇りを持つと共に此の聖業を成就する理想に生きねばならぬ。

一般團員に對しては理想の水準を下げ普通人としての取扱ひをせねばならぬ。

が必要である。亦總ゆる困苦欲乏をも耐忍する丈の克己もなければならぬ。

一、狭い内地に齷齪としてゐるよりたとひ苦勞をしても多少危険を冒しても何か一つ掴みたい。

二、然し永い間苦勞はしたくないなるべく早く生活が安定し平和な家庭を持ちたいと云ふ月並の欲望にしか過ぎない。

◎幹部の心得
幹部は前項に述べた移民者の一般心理を充分に理解し指導誘掖に當らねばならぬ。

一、鉛筆、手帳、ケシゴム、クレン等の學用品は入學後選定して同じ物を使はせたいから家庭で用意しない様にして戴きたい。

一、帽子、洋服、着物、カバン履物等もなるべく有り合はせて間に合はせ新調しなればならぬ場合は華美を避けて質實なものを選ぶ様にして下さい。

入學式に就いて

一、入學式は四月二日午前十時から始まりますから九時迄に御登校下さい。

一、役場からの通知書を必ず御持参の上受付へ御出し下さい。

は大多數の團員はくつついて來ぬ許りか往々幹部仲間でも逃げ出す者が出来るであらう

一、入學式は四月二日午前十時から始まりますから九時迄に御登校下さい。

一、役場からの通知書を必ず御持参の上受付へ御出し下さい。

一、教科書は入學式の日に學校で買りますから必要の方はそこで御求め下さい。

一、鉛筆、手帳、ケシゴム、クレン等の學用品は入學後選定して同じ物を使はせたいから家庭で用意しない様にして戴きたい。

一、帽子、洋服、着物、カバン履物等もなるべく有り合はせて間に合はせ新調しなればならぬ場合は華美を避けて質實なものを選ぶ様にして下さい。

入學式に就いて

一、入學式は四月二日午前十時から始まりますから九時迄に御登校下さい。

一、役場からの通知書を必ず御持参の上受付へ御出し下さい。

特に團長は其邊の呼吸を充分心得ねばならぬ。

一、入學式は四月二日午前十時から始まりますから九時迄に御登校下さい。

一、役場からの通知書を必ず御持参の上受付へ御出し下さい。

一、教科書は入學式の日に學校で買りますから必要の方はそこで御求め下さい。

一、鉛筆、手帳、ケシゴム、クレン等の學用品は入學後選定して同じ物を使はせたいから家庭で用意しない様にして戴きたい。

一、帽子、洋服、着物、カバン履物等もなるべく有り合はせて間に合はせ新調しなればならぬ場合は華美を避けて質實なものを選ぶ様にして下さい。

入學式に就いて

一、入學式は四月二日午前十時から始まりますから九時迄に御登校下さい。

一、役場からの通知書を必ず御持参の上受付へ御出し下さい。

御時計の修繕はぜひ當店へ

是非當店にて

初午祭の御買物はぜひ當店の

若松屋餅店

初午の御馳走は一品料理

細井亭商店

初午祭の御買物は勉強の當店へ

田中屋商店

御時計の修繕はぜひ當店へ

是非當店にて

初午祭の御買物はぜひ當店の

若松屋餅店

初午の御馳走は一品料理

細井亭商店

初午祭の御買物は勉強の當店へ

田中屋商店

御時計の修繕はぜひ當店へ

是非當店にて

初午祭の御買物はぜひ當店の

若松屋餅店

初午の御馳走は一品料理

細井亭商店

初午祭の御買物は勉強の當店へ

田中屋商店

御時計の修繕はぜひ當店へ

是非當店にて

初午祭の御買物はぜひ當店の

若松屋餅店

初午の御馳走は一品料理

細井亭商店

初午祭の御買物は勉強の當店へ

田中屋商店